

新刊

過 労 死

過重労働・ハラスメントによる人間破壊

過労死弁護士全国連絡会議(編)



コロナ禍、エッセンシャルワーカーの過重労働でさらに注目を浴びる「過労死」。なぜ、なくなるのか。弁護士・遺族医師が国際社会に問う！

グローバル化が「過労死」を世界的に拡大させている。2016年1年間で74万5000人が長時間労働(週55時間以上)によって死亡(脳・心臓疾患)したとWHO(世界保健機関)・ILO(国際労働機関)は衝撃の調査結果を発表した(2021年5月)。遺族・弁護士・医師による過労死の具体例の紹介・分析にもとづく過労死を根絶するための提言。

英語版『KAROSHI』も同時発売！

●目次

序——過労死の歴史と現代

第1部 過労死と過労自殺の事例

- 1 トヨタの事例
- 2 遺族は語る

第2部 過労死と過労自殺の分析

- 1 精神医学・公衆衛生学から見た過労死・過労自殺
- 2 過労死研究の経過と現代の課題
- 3 国際人権の視点から見た過労死と過労自殺の問題
- 4 ジェンダーの視点から過労死を考える
- 5 過労死110番運動の歩みと過労死防止の課題

むすび——過労死をなくすために

【編者】過労死弁護士全国連絡会議

1988年に全国の過労死問題に取り組む弁護士が結成した弁護士の団体。過労死110番活動をはじめとした、過労死・過労自殺の労災認定や訴訟など、個別事件解決のための活動に加え、過労死防止のための啓発活動の他、法制度等に関する意見の発出など、様々な側面から、過労死問題に取り組んでいる。

『過労死—過重労働・ハラスメントによる人間破壊 〈日本語版〉』

定価＝1430円(税込)／A5判並製／135ページ／ISBN＝978-4-8451-1787-1／C0036

『KAROSHI—How Overwork, Stress and Harassment Destroy People 〈英語版〉』

定価＝1650円(税込)／A5判並製／165ページ／ISBN＝978-4-8451-1788-8／C0036

(株)旬報社 〒162-0041 新宿区早稲田鶴巻町544中川ビル4F TEL:03-5579-8973

書籍のご購入は、最寄りの書店様もしくは Amazon 等ネット書店でお願いします